

美濃加茂市の北部に位置する伊深町は、西を流れる大洞川、南を流れる川浦川流域に田畑が開け、四方を山に囲まれ、水と緑に恵まれたところです。川浦川から大洞川へと東西に流れる天王用水は、農業や生活に必要な水を豊かに運び、今も野菜などを洗う生活用水として使われています。また、この地は、季節ごとに美しい景観を味わうことができます。春には、美しい桜が満開になる「牛牧の桜並木」「関也の桜並木」がおすすめです。ここは、初夏になると、ホタルが群れ飛ぶ場所でもあります。季節を問わず、北東の方角を見れば、水墨画に描かれているような壮大な岩山を眺めることができます。大雨の後にご覧になると、山頂から流れ落ちる幻の滝を見ることができるかもしれません。秋には、正眼寺の参道放生池辺りで美しい紅葉を見ることができます。四季それぞれの大自然を眺めながらウォーキングを楽しんでみませんか？

また、文化と伝統に恵まれたこの町には、星宮神社・諏訪神社・秋葉神社・高倉神社など9つもの神社があり、様々な神様に守られている土地でもあります。一説には、「伊深町は一つの領主さんに長い間治められていたため、争いが少なく、神様を信仰する文化が生まれたのではないか？」とされています。

有名な寺院は、臨済宗妙心寺派の禅道場である正眼寺（しょうげんじ）です。元徳2年（1330年）、関山慧玄（かんざんえげん、無相大師）が悟り後の修行のため、ここに草庵を結ばれました。慧玄はのち花園上皇に請われて京にのぼり、京都の妙心寺の開山となりました。その足跡に、万治3年（1660年）、初祖山円成寺（寛文9年（1669年）妙法山正眼寺に改称）が建立されました。関山慧玄は、今日でも伊深町民や伊深小学校の児童に「エゲン坊」「エゲンさん」の名で呼ばれ、親しまれています。

皆さん、健康増進のために、豊かな里山の自然と新鮮な空気、多くの神様や仏様に守られた街並みを、マップをたよりに楽しみながら歩いてみませんか？

